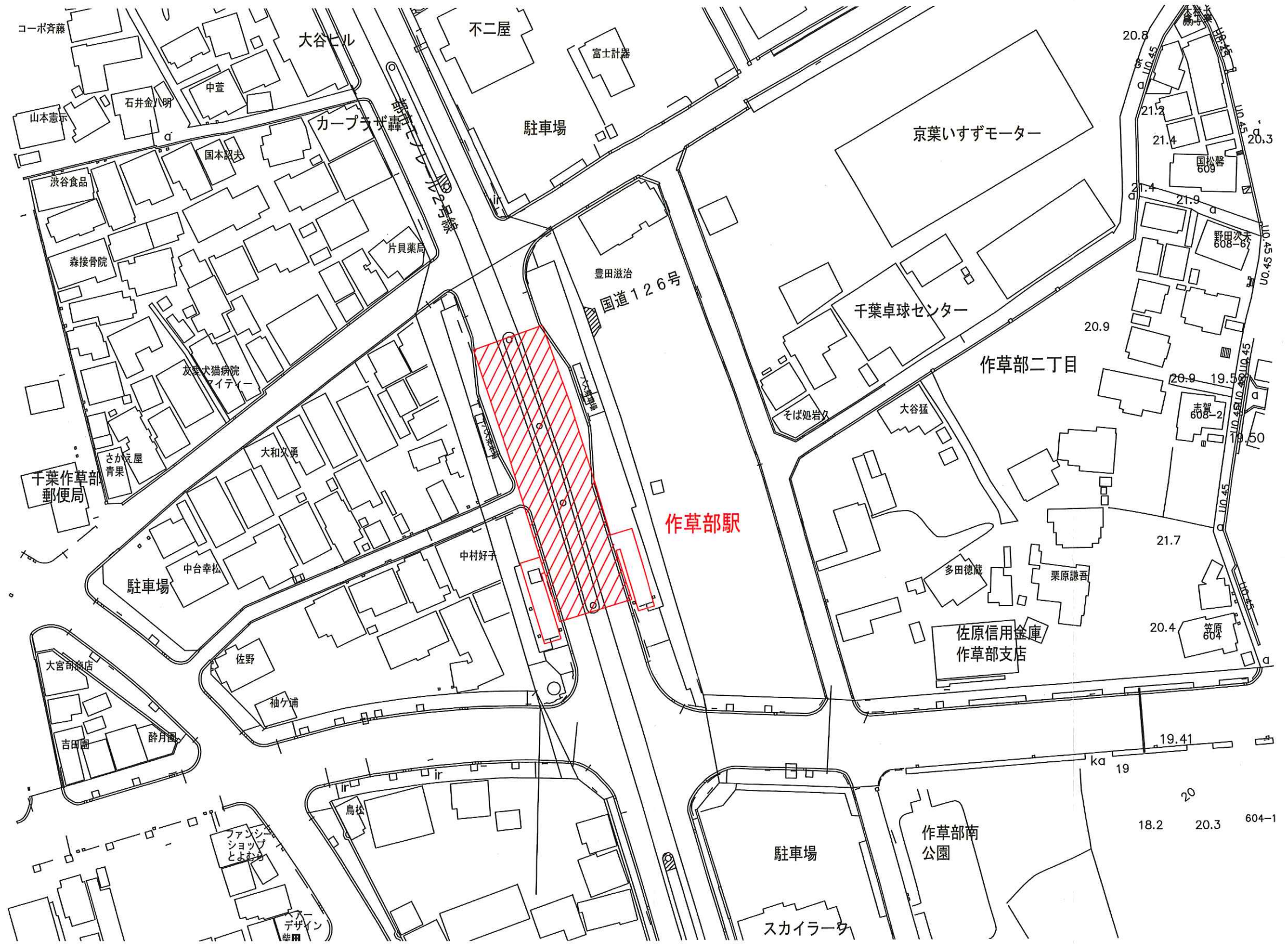


図面目録	
配置図	1/1000
補修図(作草部駅)	図示

# 配置図

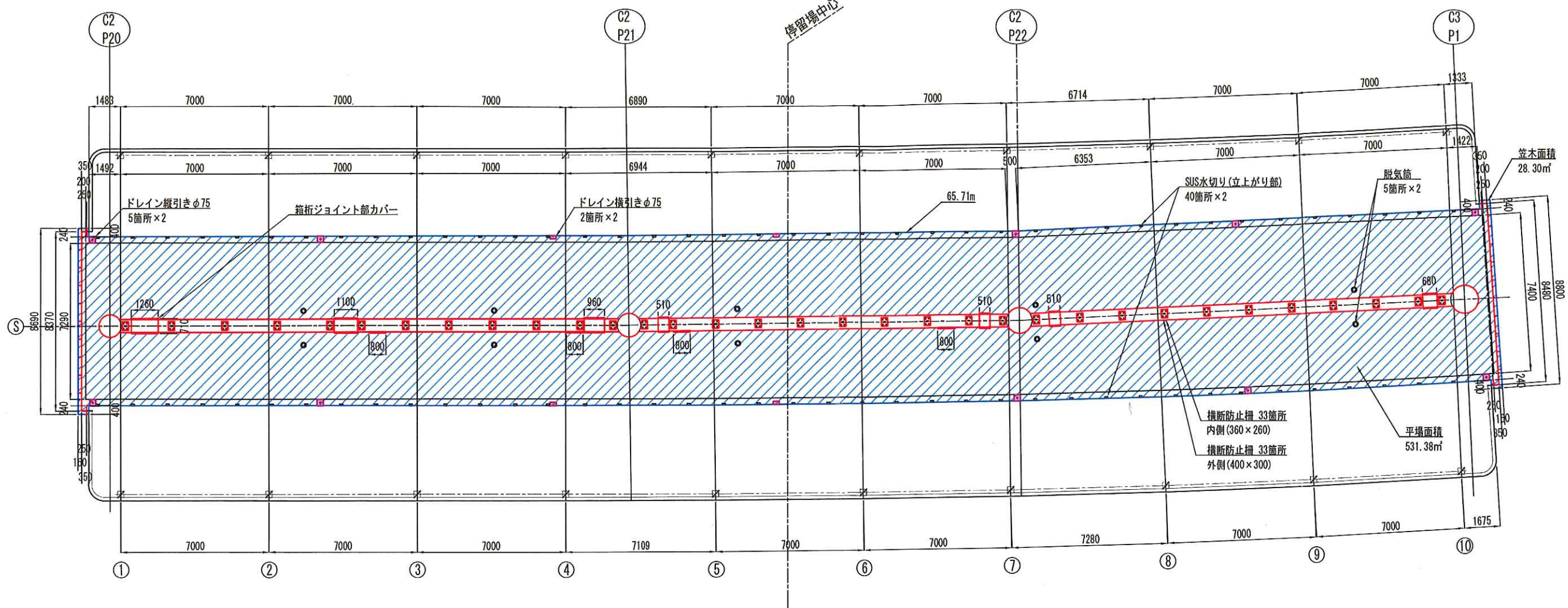


千葉都市モノレール株式会社				管理	設計	監理	工事名称	転落防止床トップコート更新工事(作草部駅)	図面名称	配置図	日付	整理番号
							工事場所	作草部駅			1:1000	図面番号
												1/2

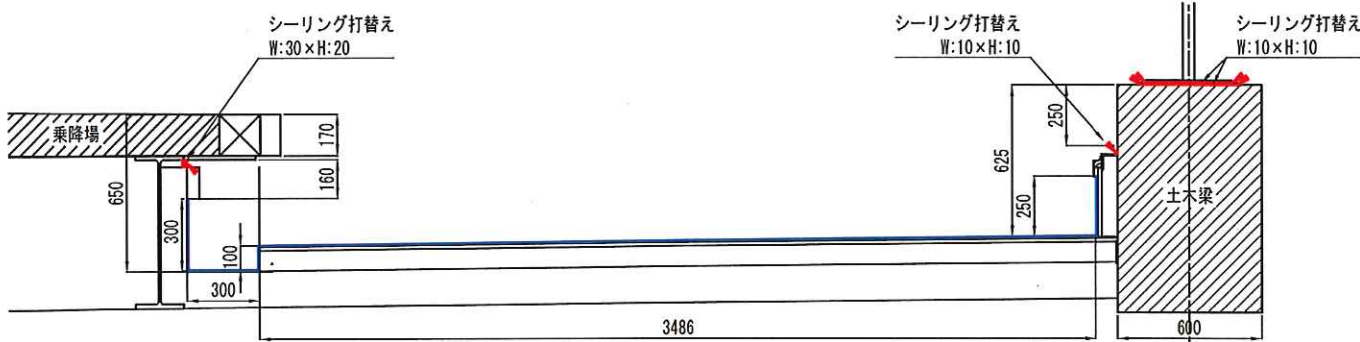


# 補修図 (作草部駅) (S=図示)

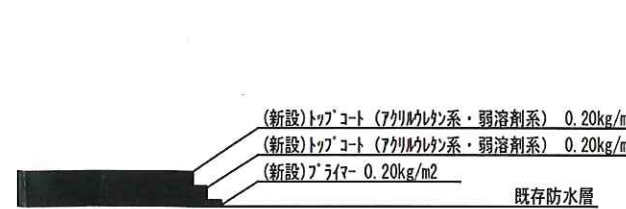
【平面図】 S=1/200



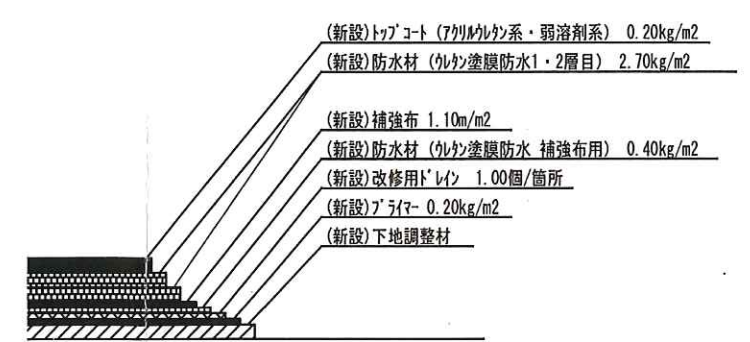
【転落防止床詳細図】 S=1/30



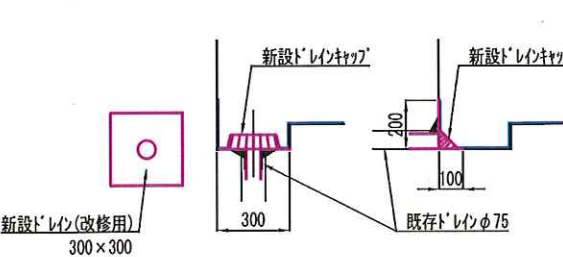
【トップコート塗替え仕様 (参考)】



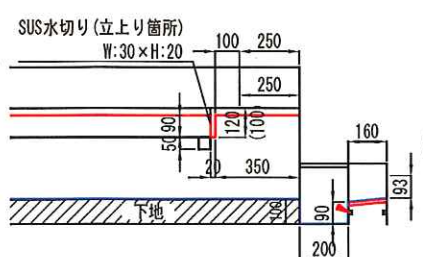
【ドレイン回り防水改修仕様 (参考)】



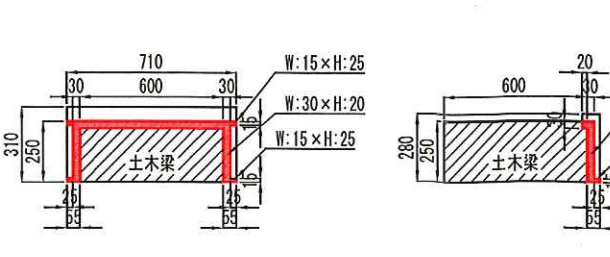
【ルーフトレイン詳細図】 S=1/30



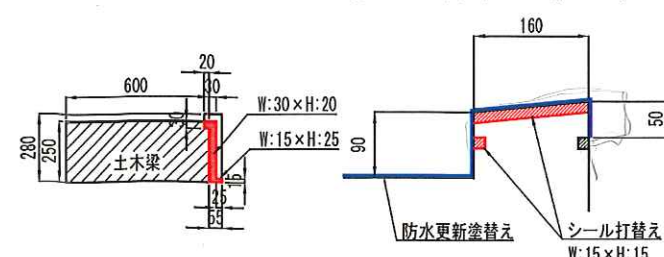
【ホーム端部詳細図】 S=1/30



【箱桁ジョイント部カバー詳細図】 S=1/30



【笠木詳細図】 S=1/10



- ※ 既存ドレインの内径を確認し、現場に適した改修用ドレインを取り付けること。
- ※ ドレインキャップの仕様については発注者に確認を取り、施工すること。
- ※ 防水材は、公共建築工事標準仕様の同等以上の防水性能を有し、製品の仕様に準拠して施工すること。また、既存防水層に合った防水材を選定すること。
- ※ シーリング材は変性シリコン(MS-2)を使用すること。
- ※ 土木梁および支柱周り水切りカバー接合部のシーリング打替えは、ブリッジシールとする。
- ※ 転落防止床表層にわれ、ふくれ等が発生している場合は、適切に処置を行った上、施工すること。
- ※ 笠木部は、下地に合ったプライマーを塗布後、防水材を塗布すること。
- ※ 既存防水層の撤去範囲は、施工時に状況を確認の上、範囲を変更する場合は発注者に確認すること。
- ※ 既存防水層撤去後、必要に応じて下地調整を行うこと。

凡例

表示	防水仕様
→	シーリング打替え
■	防水層更新

千葉都市モノレール株式会社

工事名称 転落防止床トップコート更新工事(作草部駅)  
工事箇所 作草部駅

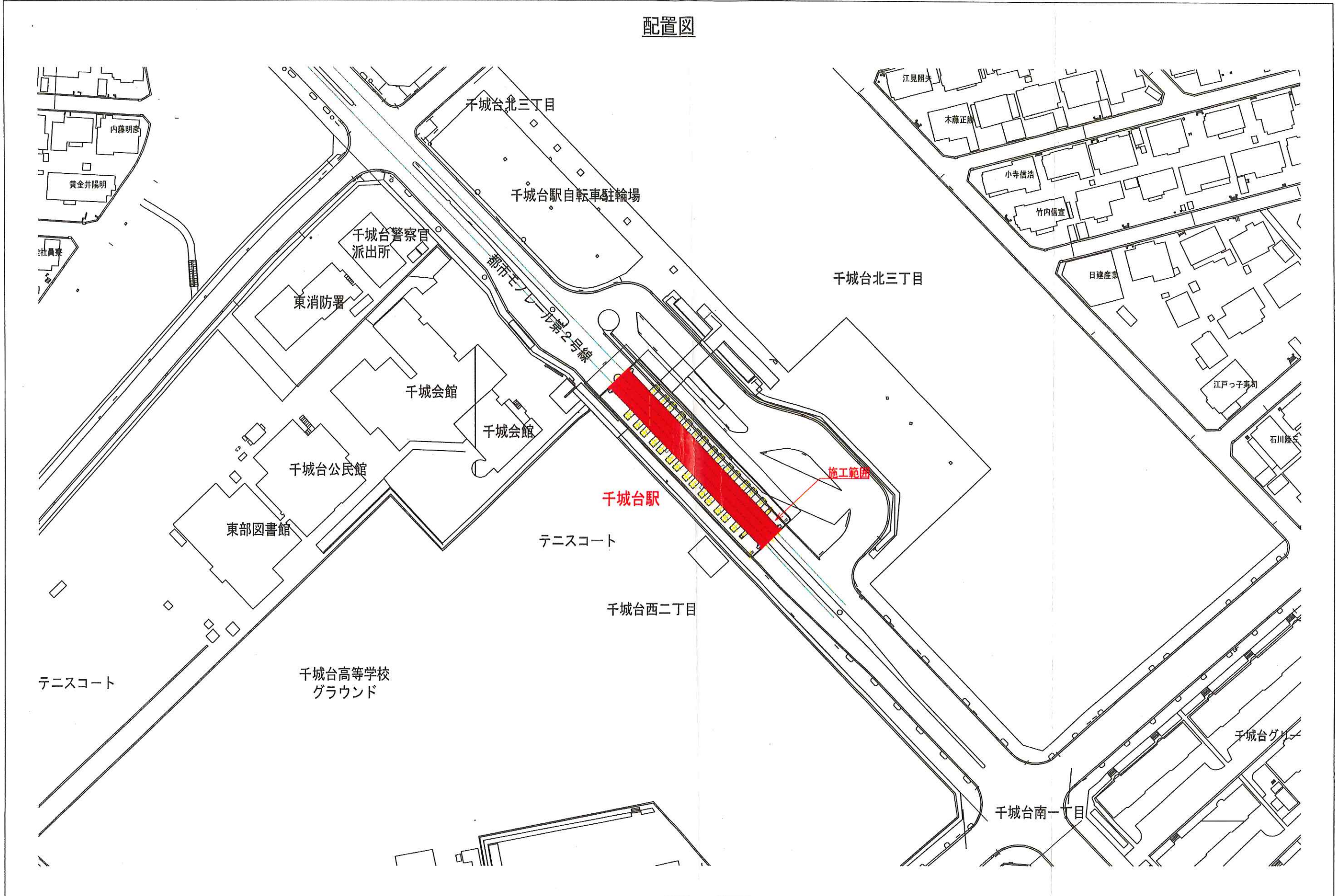
補修図 (作草部駅)

図示 2/2



図面目録	
配置図	1/1000
補修図(千城台駅)	図示

配置図

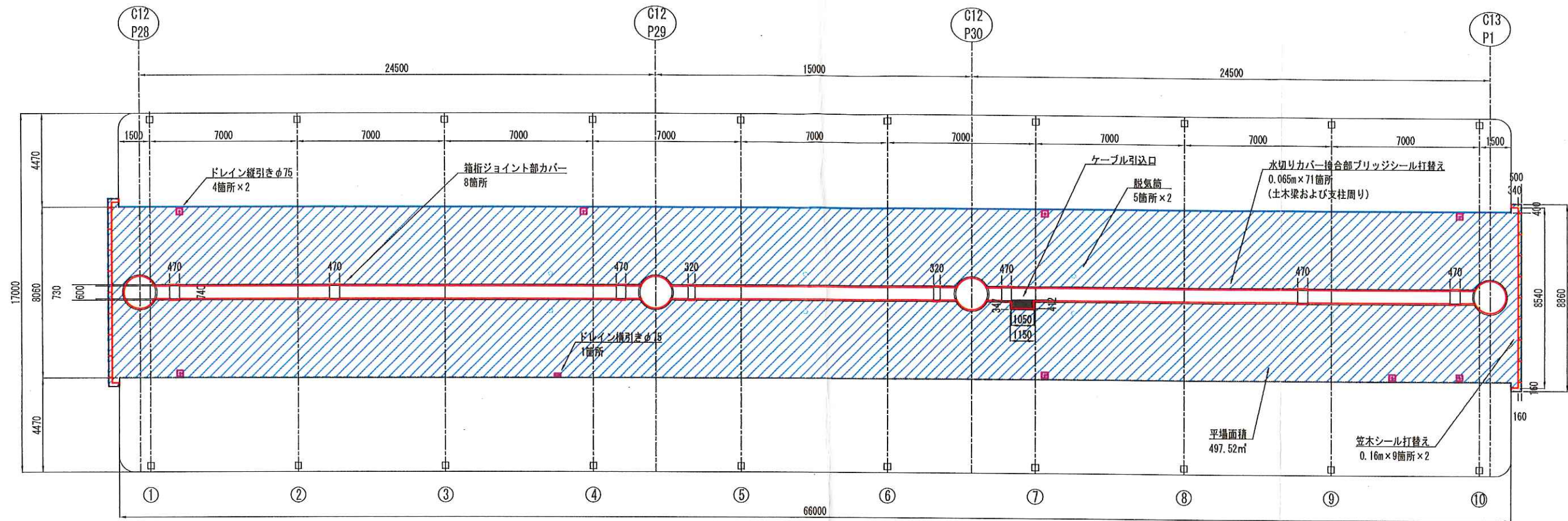


千葉都市モノレール株式会社				管理	課長	担当	工事名称	転落防止床トップコート更新工事(千城台駅)	図面名称	配置図	比例尺	1:1000	図面番号	1/2
							工事箇所	千城台駅						



# 補修図 (千城台駅) (S=図示)

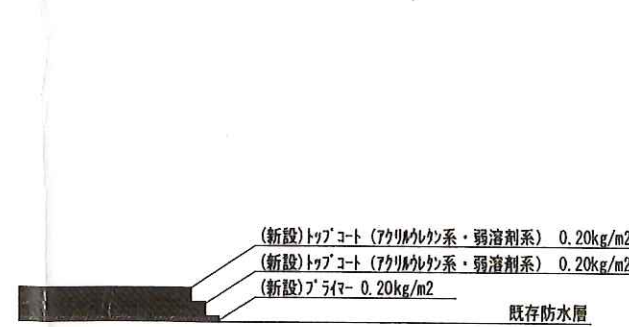
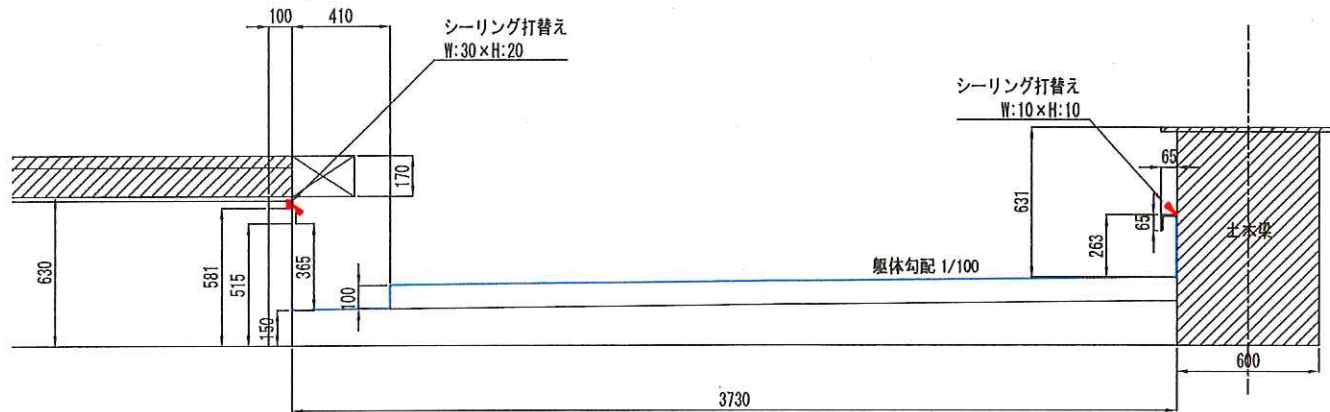
【平面図】 S=1/200



【転落防止床詳細図】 S=1/30

【トップコート塗替え仕様 (参考)】

【ドレイン回り防水改修仕様 (参考)】

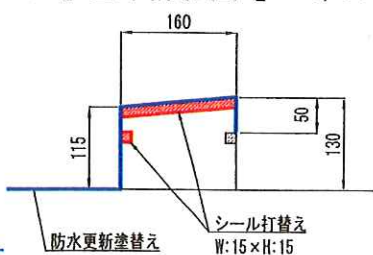
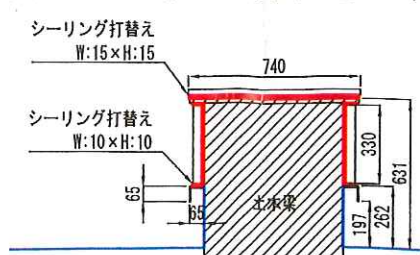
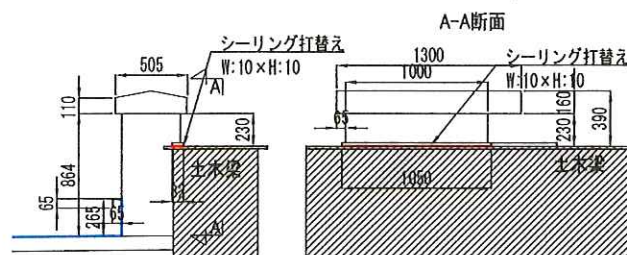
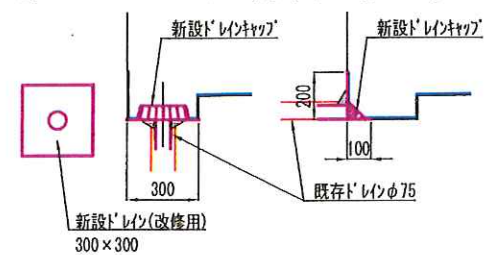


【ルーフドレイン詳細図】 S=1/30

【ケーブル引込口詳細図】 S=1/50

【箱桁ジョイント部カバー詳細図】 S=1/30

【笠木詳細図】 S=1/10



- ※ 既存ドレインの内径を確認し、現場に適した改修用ドレインを取り付けること。
- ※ ドレインキャップの仕様については発注者に確認を取り、施工すること。
- ※ 防水材は、公共建築工事標準仕様の同等以上の防水性能を有し、製品の仕様に準拠して施工すること。
- ※ また、既存防水層に合った防水材を選定すること。
- ※ シーリング材は変性シリコン (MS-2) を使用すること。
- ※ 土木梁および支柱周り水切りカバー接合部のシーリング打替えは、ブリッジシールとする。
- ※ 転落防止床表面にわれ、ふくれ等が発生している場合は、適切に処置を行った上、施工すること。
- ※ 笠木部は、下地に合ったプライマーを塗布後、防水材を塗布すること。
- ※ 既存防水層の撤去範囲は、施工時に状況を確認の上、範囲を変更する場合は発注者に確認すること。
- ※ 既存防水層撤去後、必要に応じて下地調整を行うこと。

凡例

表示	防水仕様
	シーリング打替え
	防水層更新

千葉都市モノレール株式会社

工事名称 転落防止床トップコート更新工事(千城台駅)

補修図 (千城台駅)

図示 2/2